
Cシリーズ

三谷尾だま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Cシアリーズ

【Nコード】

N3389BA

【作者名】

三谷尾だま

【あらすじ】

毎回、どこかにキュラソーさんが出てくる、結局、何なのかよく解らないシアリーズ。それぞれの話は読み切りで、あらすじと傾向は各冒頭にあります。どの話からでも読めます。すっきりしない話ばかりなので、曖昧な終わり方が嫌だと読みづらいつらいと思われます。現在、以前ブログに載せていた二編しかないため、そのあととりあえず完結表示にしておきます。

マーガリート幻想・前編（前書き）

この作品は、P G 1 2 程度です、約3、700字。あらすじ：私は、戻ってこない夫を待ち、日に日にやつれていくマギーを心配していた。買ひ物の帰りに、ある男性にぶつかり……。キーワード：殺人事件

マーガリート幻想・前編

私は、庭弄りの手を止め、額の汗を拭った。花壇の雑草を引き抜いたときにかかったであろう土を、白い花びらから払った。たくさんのマーガリートが、花壇には咲いている。

ゆっくりと立ち上がり、抜いた雑草を入れていたバケットを隅に寄せた。花壇は作業を始めるまえよりも明らかに片付き、私は少しの満足感を思える^{おほ}。

休憩をしようと、作業用の手袋を外してスカートの裾を払う。手を洗っていると背後から人の気配がした。振り向けば、彼女が立っていた。

「わたし、もう駄目だわ！ あの人は今日も帰ってこない。きっと、わたしのことが嫌になったのよ」泣きながら彼女は言う。

「そんなことはないわ、マギー。彼は、きっと帰ってくるわよ」私は、そう言って彼女を慰めた。

「でも……、もう彼が帰ってこなくなつて一週間も経つのは？」

「捜索願は出したのでしょうか？ 警察が見付けてくれるわ」

それから、夫が失踪したといつて取り乱している彼女の、もう何度目かになる話を聞いて、相槌について励ます。どうにか彼女は落ち着きを取り戻し、しきりに涙を拭いていた。

「そんなに落ち込んでばかりでは駄目だわ。そう、これから一緒にお茶の時間にしましょう、ね？」

「でも……、そんな気分じゃないわ。気が気じゃなくて」

「だからよ。一緒にケイクでも焼きましょう。そうしたら、きっと気分も紛れるわ。私、材料を買ってくるから、貴女、準備をしていて頂戴な」

上手く彼女を宥めると、彼女も少し乗り気になったようで、無言で頷き、準備をするために彼女の家の方に歩いていった。彼女の家には、性能の良いアブンがあった。

私は溜息を一つ吐き、玄関の棚からハサミを取って、花壇に咲いているマーガリートをメインに、いくつかの花を切った。それを持って台所へ行き、花瓶に活けると見栄えをチェックする。上出来だった。

冷蔵庫の中と棚を見て、在庫を確認して財布の入った小さな鞆を手取る。買い物が終わったあとでマギーの家に持っていこうと、花瓶は玄関の靴箱の上に置いて家を出た。出がけに彼女の家を見る。この位置からは、彼女の姿は見えなかった。

どんなケイクを作ろうかと道すがらに考え、やはりここは、気取らずクリームティが良いかもしれないと思った。クロテッドクリームはある。スコンを作れば良い。

紅茶は彼女の家にあるだろう。そうだ、そうしよう。

ほとんどの材料は、既に揃っているようだったので、なにかおいしそうな果物でもないかと、青果コーナを眺めた。赤い、ラズベリーがとてもおいしそうだ。この間、買ったばかりのおいしいストロベリージャムを出そう、と考えてはいたが、そのラズベリーがあまりにもおいしそうだったので一盛り購入した。

ほかにも夕食用の材料をいくつか購入し、早々に店を出る。

二人でお茶を飲んだあとに、夕食も一緒にしよう。可哀相なマギー。あんなにやつれてしまって、ちゃんと食事を摂っていないに違いないだろう。

私は家路を急いだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3389ba/>

Cシアリーズ

2012年1月8日20時47分発行